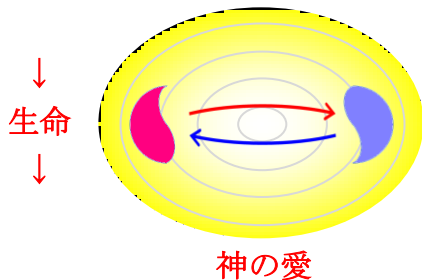


本然の人間（完成した人間） = 神の血統



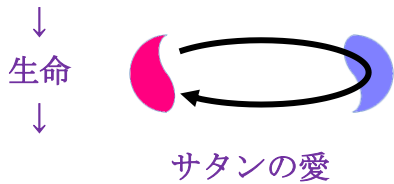
対象（主体）との関係性（カウンデ）に神の愛を現わす

∴ 対象（主体）は、私が神の愛を体恤するためになくてはならない存在

相手の喜びが、私の喜び ⇒ 為に生きる生活

「神の言」によって生きる（家庭）

墮落人間 = サタンの血統



対象（主体）が、死のうと生きようと、関係なし！

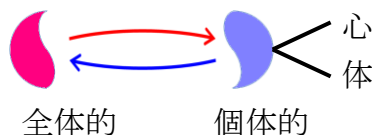
対象（主体）は、利用価値があるかないか？

自分の喜びを追求（動機）⇒ 自己中心的な生活

「サタンの言葉」によって生きる（家庭）

◀ 復歸にあたり ▶

◎二重目的の連体（私に二つの目的あり！）



心 全体的目的に生きるとき、
体 ⇒ 個体的目的が保障

∴ 為に生きよ！

I. 愛の力と原理の力

人間創造の目的である四位基台を成就するために、不可欠なのは？

⇒ 神の愛 : 三対象の愛により三対象目的を完成した四位基台の主体的愛

∴ 愛は、人間の幸福と生命の根源



原理で創造された人間を、愛によって主管なさる

∴ 愛の力 >> 原理の力

愛が「愛」らしいために

II. 信仰のための戒めについて

◎単純に墮落しないように！ ❌

人間が自分自身の責任分担として

そのみ言を信じ、自ら完成

- ・ 神の創造性に似るように
- ・ 万物に対する主管性を持たせる

◎人間に与えた（天使長に与えたのではない！）

神の子女の立場で、天使までも主管すべき人間の創造原理的な資格と威信を立てるため